

なんも・なんも 16号

石山・澄川・芸術の森地区



孤立を防ぐための取り組み

芸術の森地区にお住まいの方から聴いたお話です。

「うちはこの世帯です！」

「自分は今こういう状況です。何かあったら助けを求められるかもしれません。」

このように、近所の方や近所のコンビニの店員さんに伝えたそうです。困ったときに1人、もしくは家族だけで悩むよりも誰かに頼りながら無理せずに自分らしく暮らしていく為に行ったと仰っていました。

さらに旅行等で自宅を空けるとき…

「旅行へ行くため、家を数日間留守にします。」

そう近所の方に伝え、旅行を楽しまれたそうです。このように一言伝えておくことで、新聞が溜まってしまっても、自宅の電気がついていなく1日中真っ暗でも、近所の方は心配せず安心して過ごせる、そう教えていただきました。

1秒もかからない言葉が、人と人のつながりを作る

最後に「何かあったら頼らせてね。」たった1秒、たった一言で自分の気持ちが救われると仰っていました。住み慣れた地域でこれからも気持ちよく、そして楽しく暮らしていくために、まずは自分からSOSを発信していくことが大切である、と。

- 相談していいのかな
- 迷惑じゃないかな
- 他人に話すなんて…



「ちょっとだけ見守っていてほしい」

1秒もかからない言葉で伝え、
不安を取り除き
自分らしく生活しましょう。